

## 葛西臨海公園・葛西海浜公園鳥類調査報告書（令和7年度）

日時：令和8年2月9日（月）10時10分～13時30分

調査者：鈴木弘行、大野 新、植草秀夫、栗山 実

天候：晴

### 【総括コメント】

51種14,193羽の鳥類が記録された。昨年（44種8,481羽）と比べると、種類・個体数共に増加した結果となった。個体数が多くなったのは、スズガモとカワウが多く確認されたことが要因である。

スズガモの個体数が近年減少しているが、今回は10,055羽が確認された。また、カンムリカイツブリは1,081羽だった。

東なぎさで国のレッドデータブック絶滅危惧IB類(EN)のクロツラヘラサギ3羽、絶滅危惧IB類(EN)のツクシガモ1羽が確認された。

### 【調査区毎コメント】

#### ① 駅前～松並木入口

・12種類の鳥類を確認した。常緑樹の中を飛び回るメジロが目立った。駐車場で部分白化のハクセキレイ、芝生広場でセグロセキレイ、クロマツ林の近くでビソイが見られた。

#### ② -1 松林入口～松林終点

・7種類の鳥類を確認した。令和3年度調査から2区を二つに分けた地区。以前はアオジが多数確認された場所だが、低木類・下草の撤去により確認される鳥類が少なくなっている印象がある。アオジは1羽のみの確認だったが、クロマツの上部でエサを探すメジロ20羽の群れなどが確認された。

#### ② -2 松林終点～渚橋

・14種類の鳥類を確認した。地上でエサを探すキジバトが多く確認され、合計21羽となった。アオジも10羽と多かった。

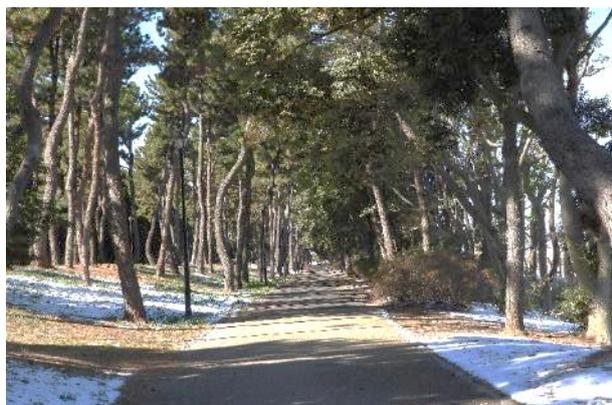
#### ③ 西なぎさ・東なぎさ

- ・27種の鳥類を確認した。
- ・スズガモ10,020羽、カンムリカイツブリ1,081羽を確認した。
- ・ツクシガモ1羽が東なぎさで確認された。
- ・東なぎさでクロツラヘラサギ3羽が確認された。その後2羽が鳥類園上の池に飛来した。
- ・調査時、干潟がほとんど出ていなかったこともあり、シギやチドリ類、カモメ類の個体数が少なかった。

#### ④ 渚橋～鳥類園

- ・27種の鳥類を確認した。
- ・上の池では、相変わらずカモ類の個体数は少ない。
- ・上の池上空でハイタカ1羽、下の池のクロマツでノスリ1羽が確認された。
- ・調査終了間際にクロツラヘラサギ2羽が上の池に飛来した。
- ・下の池では鳥がとても少なかった。

#### 【調査地の環境】



②-1 松林入口～松林終点 2026年2月



2017年時(下草やブッシュがあった)



鳥類園上の池

【確認された鳥類】



スズガモとカンムリカイツブリ (調査区③: 西なぎさ)



カワウとカモメ類 (調査区③: 東なぎさ)



カンムリカイツブリ



ハジロカイツブリ



ツクシガモ (調査区③: 東なぎさ)



マガモ (調査区④)



ハシビロガモ (調査区④)



クロツラヘラサギ



ミサゴ (調査区③)



チョウゲンボウ (調査区③)



ノスリ (調査区④)



ハイタカ (調査区④)



ハクセキレイ部分白化 (調査区①)



セグロセキレイ (調査区①)



ビンズイ (調査区①)



アオジ (調査区④)

**【調査風景】**



鳥類園上の池

No.	調査区	都RD	①駅前～松 並木入口	②松林入口～渚橋		③西なぎ さ・東なぎ さ	④葛西渚橋 ～鳥類園	計
				②- 1 松林入 口～終	②- 2 松林終 ～渚橋			
時間			10:10～10:40	10:40～10:50	10:50～11:10	11:10～11:55	11:55～13:30	
1	ツクシガモ	(国EN)				1		1
2	ハシビロガモ						8	8
3	オカヨシガモ					2		2
4	ヒドリガモ					17	8	25
5	カルガモ					8	17	25
6	マガモ					2	19	21
7	コガモ						10	10
8	キンクロハジロ						6	6
9	スズガモ	※				10,020	35	10,055
10	ホオジロガモ	VU				1		1
11	ウミアイサ	DD				1	2	3
12	キジバト		3	3	21		1	28
13	オオバン	CR				6	21	27
14	カイツブリ	NT					1	1
15	カンムリカイツブリ	※				1,081		1,081
16	ハジロカイツブリ	NT				33		33
17	シロチドリ	CR				6		6
18	ダイシャクシギ	CR				2		2
19	ハマシギ	VU				2		2
20	イソシギ	VU				2		2
21	ユリカモメ					11		11
22	ウミネコ					2		2
23	セグロカモメ					12		12
24	カワウ					2,500		2,500
25	クロツラヘラサギ	CR				3		3
26	アオサギ					11	2	13
27	コサギ	VU			1			1
28	ミサゴ	EN				1		1
29	ハイタカ	EN					1	1
30	トビ	NT			2	2	1	5
31	ノスリ	CR					1	1
32	コゲラ						2	2
33	チョウゲンボウ	EN				1		1
34	ハシボソガラス		1		2	2	1	6
35	ハシブトガラス		11		3		5	19

36	シジュウカラ			1	1		23	25
37	ヒヨドリ		8		13		21	42
38	ウグイス		2		1		2	5
39	メジロ		25	20	8	40		93
40	ムクドリ		6	15	4			25
41	シロハラ						5	5
42	ツグミ				1		4	5
43	ジョウビタキ						1	1
44	スズメ		2				15	17
45	ハクセキレイ		4	1	4		6	15
46	セグロセキレイ	VU	1					1
47	ビンズイ		1					1
48	タヒバリ			1				1
49	カワラヒワ				2			2
50	アオジ			1	10		3	14
51	カワラバト	外来種	11			3	10	24
	<b>記録種類数</b>		<b>12</b>	<b>7</b>	<b>14</b>	<b>27</b>	<b>27</b>	<b>51</b>
	<b>記録個体数</b>		<b>75</b>	<b>42</b>	<b>73</b>	<b>13,772</b>	<b>231</b>	<b>14,193</b>

種の配列は日本産鳥類目録【改定第8版】準拠

補足事項

※調査完了後、調査ルート以外でニシオジロビタキ1羽を確認した。

東京都レッドリスト2023（区部）凡例説明

CR 絶滅危惧ⅠA類 絶滅危惧Ⅰ類

EN 絶滅危惧ⅠB類

VU 絶滅危惧Ⅱ類

NT 準絶滅危惧

DD 情報不足

※ 留意種